



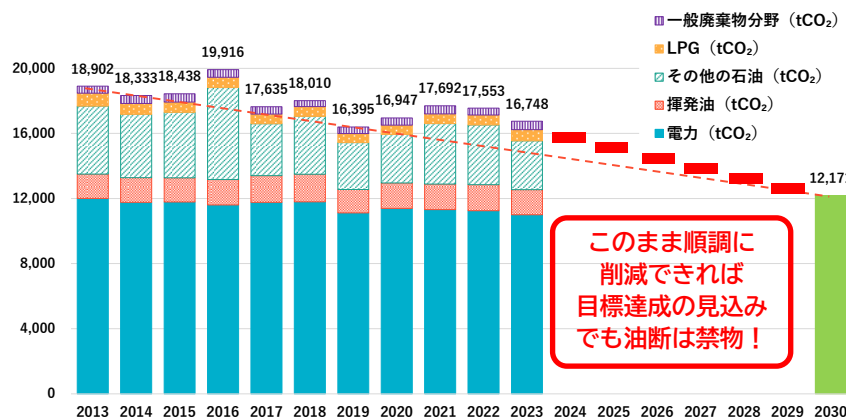
スイッチおがさわライフ ゼロカーボン大作戦



小笠原村
環境課
2-2270

小笠原村では、「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)～スイッチおがさわライフ ゼロカーボン大作戦～」の目標達成のため、省エネやごみの減量化の取組を進めています。今回は、2023年度(令和5年度)の温室効果ガス排出量の推計結果を報告します。

2023年度の温室効果ガス排出量の推計結果は…?



このまま順調に削減できれば目標達成の見込みでも油断は禁物!

結果報告

2023年度温室効果ガス排出量: **16,748 t-CO₂**

11.4%削減!

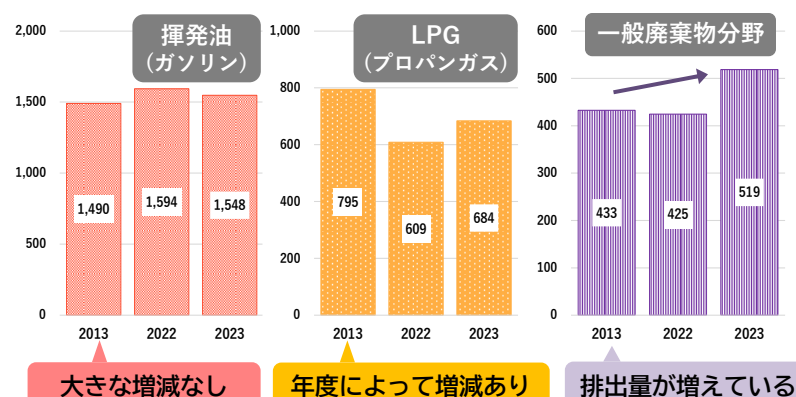
基準年度(2013年度)と比べて **2,154 t-CO₂** の削減

目標達成には2030年までに **4,577 t-CO₂** の削減が必要です。

2023年度の温室効果ガス排出量は、前年度と比べて805t-CO₂の削減となりました。このペースで排出量を削減し続けることができれば、2030年度の削減目標(2013年度比▲46%)を達成できる見込みです。しかし、猛暑の年にはエアコンの使用量が増えてしまうなど、排出量の増減には変動があるため、今後も減少するとは限りません。

エネルギー対策やごみの減量を続けていくことが大切だね

●排出量に占める割合は少ない3種類の増減はそれぞれ異なる

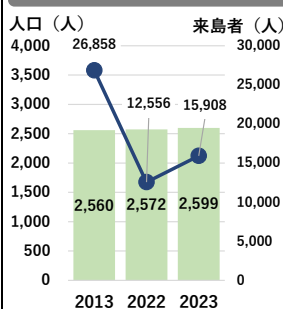


大きな増減なし

年度によって増減あり

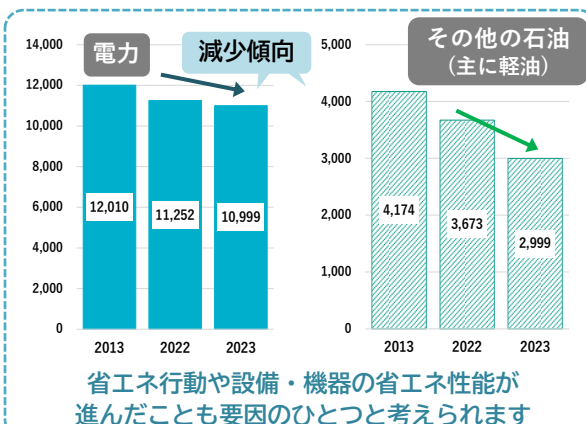
排出量が増えている

【参考】人口と来島者数



人口や観光客数が影響しそうですが、増減がきれいに一致しません

●主な排出源である「電力」「その他石油」は排出量が減少



省エネ行動や設備・機器の省エネ性能が進んだことも要因のひとつと考えられます

ゼロカーボン大作戦の取組状況とこれから

2024年度(令和6年度)は以下に示す取組が進みました。しかし、ゼロカーボン大作戦の全てに着手できていないわけではありません。今後は、まだ着手できていない取組をどのように進めていくか検討して実行に移すことが重要です。また、排出量が多い分野について、対策を継続・強化していくことが求められます。

作戦	令和6年度の主な取組実績
作戦1 みんなで取り組む脱炭素	○ゼロカーボンワークショップ実施 ○小学校ごみとリサイクル授業 ○村民だよりによる情報発信 ○ごみ分別ガイドブック作成
作戦2 島ぐらし楽しく快適に脱炭素	○省エネ家電製品普及促進事業補助 ○公用車にEV車導入(母島) ○ZEV協定に基づく村民のEV購入支援
作戦3 自然パワーで脱炭素	○情報センターへ太陽光発電設備導入 ○母島太陽光発電所建設事業の推進 ○北港バイオトイレ(太陽光パネルと共に新設)
作戦4 ごみも資源だ脱炭素	○製品プラスチックステーション回収の実施 ○資源リサイクル拠点回収の実施 ○生ごみコンポストモニター実施
作戦5 脱炭素型エコツアーで満喫	○母島シェアサイクルの試行
作戦6 守れBONINの森と海	○小笠原諸島世界自然遺産管理計画に基づく森林等の適正管理 ○オガグワの森イベントなど地域と連携したイベントの実施

ごみ分別ガイドブックは5月頃に公表予定です!

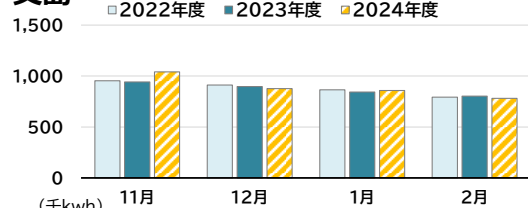
これから村民の皆さんと共に取り組んでいきたい着手が難しい&さらなる強化が必要な取組

- 家庭・事業所における省エネやごみ削減の推進(作戦1&4)
- エコドライブや相乗りなどの移動の脱炭素化の推進(作戦1&5)
- 再エネ導入やメンテナンス体制の充実(作戦3)
- EV車普及のための太陽光発電による充電設備の検討(父島)(作戦2&3)

排出量削減のアイデアや情報も募集中!

おがさわら 電気使用量報告 (2024年11月～2025年2月)

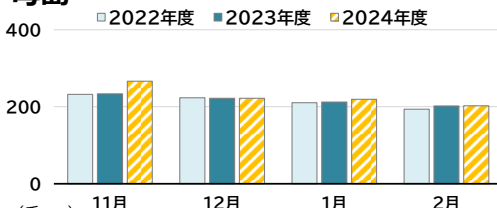
父島



過去2年の同時期と比べて…※

11月: 9.8% 増
12月: 3.0% 減
1月: 0.5% 増
2月: 2.1% 減

母島



過去2年の同時期と比べて…※

11月: 14.4% 増
12月: 0.3% 減
1月: 3.9% 増
2月: 2.2% 増

※各島の発電所からの送電電力量(月別)データを基に、過去2年の送電電力量の平均値と2024年度の送電電力量を比較しています。